

## カーリング

中国北京では、冬のオリンピックが開催されていました。昨日は閉会式でした。日本選手も様々な競技で大活躍しましたね。

帰納は、カーリングという競技の決勝戦が行われていましたね。日本チームは見事銀メダルに輝きました。

カーリングとは、氷の上で目標とする円をめがけてそれぞれのチームが 8 回ずつストーンを滑らせて、円の中心により近づけたチームが得点を得るという競技です。

自分のチームのストーンを円の中心に近づけるために、氷を掃いたり、ストーンをどこに置くかを考えたり、体も頭も使う競技です。事前の予測と経験を元に、相手の行動を先読みする想像力や、氷の状態、ストーンの動きから戦略を組み立てる知能が必要と言われていています。そして、チームプレーなので、仲間とコミュニケーションをとることも重要になるスポーツです。

この前、カーリングの試合を見ていたら「コンシード」という言葉を耳にしました。試合の途中でも負けを認めて相手の勝ちを認めるときに使う言葉だそうです。負けを認めるのだから「降参」や「ギブアップ」かなとも思ったのですが、調べてみると少し意味は違うようです。

「コンシード」は、「負け」を意味するのではなくて「譲る」という意味があるのだそうです。「自分たちは精一杯戦ったが、相手が素晴らしかったので勝ちを譲る」という意味だそうです。相手のがんばりに敬意を払う意味があるのです。

一つ一つの競技に、発祥の国があり、歴史があり、礼儀があるのです。そういえば、将棋も負けが決定的になった時、最後までささないで「参りました。」と頭を下げますね。これも、相手に対して敬意を払っているのかもしれない。

来週からはパラリンピックが開催されます。選手の活躍を応援すると同時に、スポーツの楽しさやルール、歴史にも目を向けると一層楽しいかもしれません。